

投稿**DVD「太陽のなぞに迫る」の紹介****矢治 健太郎(立教大学)、PAONET ひのでデータ活用ワーキンググループ****1. はじめに**

PAONET ひのでデータ活用ワーキンググループと国立天文台ひので科学プロジェクトは、太陽観測衛星「ひので」の観測成果を教育現場で活用するために、DVD「太陽のなぞに迫る」を制作しました。これは、2008年に制作したDVD「ひのでが探る太陽」に続くものです。今回、教育関係者に幅広く配布するため、「天文教育」に同封させていただきました。以下、DVDの内容を紹介します。

2. 4本のムービー

ひのでの成果を紹介した4本のムービーは、連続再生することもできますが、内容は独立しているため、見るムービーの種類、順序は関係なく見ることができます。「ムービー解説ページ」も用意していますので、ご活用下さい。

「日食の姿」 太陽が突然なくなってしまう日食はまさに神秘的な現象です。現在では日食のしくみは既にわかっていますが、大自然が見せる、神秘的な現象を解説します。

「コロナの謎を追って」 太陽の翼と言われていたコロナは、太陽の周囲をとりまく大気であることがわかりました。そのコロナが、なぜ100万度という高温なのか、コロナ加熱問題が現れました。このコロナ加熱問題を解決する2つの説について、「ひので」で観測された証拠を挙げながら解説します。

「フレアを予測する」 太陽フレアという爆発現象は、大規模な停電・通信障害・人工衛星の故障などが引き起こします。「ひので」の詳細なフレア観測と、コンピュータシミュレーションを用いることで、フレアの発生機構をつきとめて、発生を予測し、事故の発生を未然

に防ぐための研究が進められています。

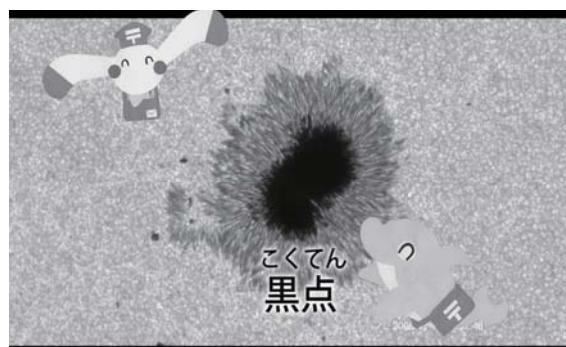
「たいようのおくりもの」 太陽活動によって、さまざまな現象がわたしたちの身のまわりに起きています。例えば、磁気嵐やオーロラがそうです。ここでは、太陽が地球に与える影響と、「ひので」で観測された太陽の姿を、かもめというかのキャラクターを使って、子どもにもわかりやすく解説しました。

3. その他のコンテンツ(一部です)

日食を見よう 今年の7月22日の皆既日食・を迎えて、皆既日食の解説、日食観察の楽しみ方をいろいろ紹介しています。

解説ポスター ムービーの概要を解説したポスターを収録しています。ビデオ上映するモニターの近くへ掲示したり、ポスターのみを展示して、活用することができます。

刊行物書庫 国立天文台・JAXA・日本天文学会のご厚意により、「国立天文台ニュース」「ISASニュース」「天文月報」の太陽観測衛星「ひので」の成果を特集した刊行物のPDFを収録しています。



「たいようのおくりもの」の一場面